

日蓮大聖人御書全集

にしやまどのごへんじ

西山殿御返事

ゆきうるしごしよ

（雪漆御書）

新版
1951

にしやまどのごへんじ ゆきうるしごしよ

西山殿御返事（雪漆御書）

けんじ ねん けんじ
建治 2 年 ('76)
さい 55 歳
にしやまどの
西山殿

せいふごかんもん た そうら お
青鳧五貫文、給び候い畢わんぬ。

そ ゆきいた しろ 染 染 移
夫れ、雪至つて白ければ、そむるにそめられず。漆至つ

黒 白
てくろければ、しろくなることなし。これよりうつりやすき

ひと こころ ぜんあく そうろう しんごん ぜん ねんぶつしゅうとう
は人の心なり。善悪にそめられ候。真言・禅・念仏宗等

じゃあく もの かなら じごく 墮 ほけきよう
の邪悪の者にそめられぬれば、必ず地獄におつ。法華経に

たてまつ かなら ほとけ 成 きよう い しょうほうじつそう
そめられ奉れば、必ず仏になる。経に云わく「諸法実相」

うんぬん い ひとしん ないしあびごく い
云々。また云わく「もし人信ぜずして乃至阿鼻獄に入らん」

うんぬん

云々。

ごしんじん

ゆき

うるし

おん持

いかにも御信心をば雪・漆のごとくに御もちあるべく

そうろう

きようきようきんげん

候。恐々謹言。

けんじにねんひのえね

建治二年丙子

にちれん

かおう

日蓮

花押

にしやまどのごへんじ

西山殿御返事